

お知らせします!

たかやまのお財布事情

皆さんが納めた税金がどのように使われているかをお知らせするため、市では毎年、予算の執行状況や決算の公表をしています。このページでは、市の財政事情や令和2年度決算の概要をお伝えします。 [問合せ](#) 財政課 ☎35-3132



財政の現状とこれから

現状

新型コロナウイルス感染症対策などに基金を取り崩して対応し、適切な財政運営を行いました。

令和2年度の当初予算（一般会計）は462億円でしたが、新型コロナウイルス感染症対策で128億円、令和2年7月豪雨災害への対応で58億円を増額補正しました。その財源として、国や県などからの補助金を157億円、市の基金を30億円取り崩すなどして確保した結果、市の財政運営は健全に保たれている状況です。今後も、感染症対策や災害対応など、臨時・緊急的な財政出動が予想されることから、引き続き歳入の確保と歳出規模の適正化を図る必要があります。

健全化判断比率の4指標は良好

指標	高山市	早期健全化基準*
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	—	11.93%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、企業会計を合わせた赤字の割合	—	16.93%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	5.5%	25%
将来負担比率 将来の負担となる借金の割合	—	350%

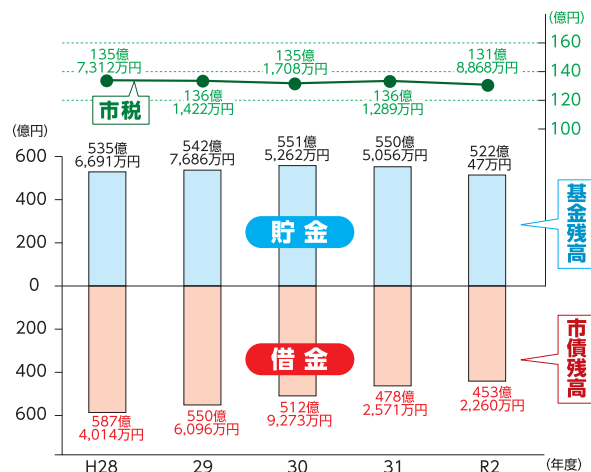
*この数字を上回ると財政健全化の取り組みが必要になります。

◆**財政力指数 0.53** (H31 全国平均0.51)

標準的な行政サービスにかかるお金を市税などで賄える割合

*数字が大きいほど必要なお金を自治体自らが賄えていることを示します。

基金残高は前年比28億5,010万円減少



◆**経常収支比率 85.6%** (H31 全国平均93.6%)

人件費や福祉の費用、借金の返済などが市税をはじめとした経常的な収入に占める割合

*比率が高いほど自由に使えるお金がないことを示します。

*数値は四捨五入しているため、合計や差し引きが合わないことがあります。

将来

収入の伸びは期待できず、支出の増加が見込まれます。

人口減少や高齢化が進むと、市税などの収入が減少します。加えて、働く世代が減ることで支える側の負担が増え、社会保障費の増加や地域社会への影響が懸念されます。また、近年多発している自然災害など、緊急の財政出動を要することも予想されます。

取り組み

お金の使い方や集め方を随時見直し、時代にあったサービスの提供を目指します。

歳入の確保	資産の活用	基金の活用
歳出の見直し	受益者負担の適正化	市債の発行

市の財政状況を客観的に把握し、効率的な財政運営に役立てるため、令和2年度財務諸表を作成・公表しています。 広報ID1002112